



菊花 展覧会

第96回

明石公園

令和6年
10/26(土) → 11/17(日)
平日:10時~16時 土日祝:9時~17時

兵庫県立 明石公園
JR明石駅・山陽明石駅北へ徒歩5分 有料駐車場有

大菊切花展
11月5日(火)~7日(木) 9時~16時
パピオスあかし2階 あかし市民広場

明石市立 花と緑の学習園
明石市小久保1丁目10番3号
TEL 078-924-6111 FAX 078-924-6121
https://www.city.akashi.lg.jp/tosei/kouen_ka/hanamidoakashi.html

【主催】兵庫県、明石市、明石公園菊花展覧会実行委員会
 【後援】国土交通省、総務省、環境省、(公財)兵庫県園芸・公園協会、(一社)明石観光協会、明石商工会議所、(一財)明石コミュニティ創造協会、神戸新聞社、明石菊花協会
 【協賛】明石銀座商店街振興組合、(株)明石ケーブルテレビ、明石工業会、明石市商店街連合会、(一社)明石市シルバー人材センター、(一財)明石乗馬協会、明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、(一社)明石青年会議所、明石池田組合、アスパシア明石出店者会、アルテフェスタ実行委員会、(株)アルト、魚の橋商店街、(一財)金ヶ崎コミュニティ協会、川崎重工業(株)明石工場、山陽電気鉄道(株)、JR西日本アーバン開発(株)明石支店、神姫トラストホープ(株)、日新信用金庫、阪神内燃機工業(株)、(株)パーベキューアンドコー、パピオスあかし管理組合法人、(公社)ひょうご観光本部、兵庫県菊花連合会、(株)三井住友銀行明石支店、(株)明幸園、森合精機(株)、ライオン(株)明石工場 (五十音順)



会場位置図



電車のアクセス 所要時間

【大阪方面から】
JR大阪駅からJR神戸線で明石駅へ約40分

【神戸方面から】
JR三ノ宮駅からJR神戸線で明石駅へ約15分
阪神・阪急三宮駅から山陽明石駅へ約30分

【姫路方面から】
JR姫路駅からJR神戸線で明石駅へ約25分
山陽姫路駅から山陽明石駅へ 約35分

なんと! お得情報

菊花展開催中にこのリーフレットを見せると、

市立天文科学館 2割引
(月・第2火休)

市立文化博物館 2割引
(月休)のそれぞれの割引で
5名様まで観覧
できるのじゃ!!

菊は種類が多くてなんだか難しそう...
というあなた!ご安心あれ!
拙者「あかし菊のすけ」が明石公園菊花展覧会を
くわしく案内いたしますぞ!

明石の市花は菊でござる

がっ こう えん か だん
学校園花壇

平成25年からスタートした学校園花壇は、幼少期から市の花である「菊」に親んでもらうことを目的として、市内の保育園や幼稚園、小学校などに菊苗や資材を配布して、学校園で子ども達が育てた「梵天菊(ドーム菊)」を展示しています。

併せて11月4日まで学校園花壇人気コンテストを明石公園正面入り口で開催していますので、是非投票してください。



だい けん がい はち こ べつ
大懸崖鉢個別

冬の間から苗を育てて、春の訪れと共に大きな木箱の上に竹を組んで作った柵の上に芽先を広げ、2メートル近い作品をめざし、日光と水と肥料と作者の情熱を注ぎ込み、暑い太陽の下で育て上げます。



おお ぎく きり ばな
大菊切花

切花は一輪で競う「単花」、三輪を組み合わせた「組花」があり、花の持つ色、花径の大きさ、弁組などを競います。

花形等により、厚物系、管物系、一文字、大掴、美濃に分類されています。

競技花の部では、毎年品種が選定され、令和6年は、『国華宝器』、『国華理想』、『西の彩雲』、『西の紫雲』の4品種となっています。



ふく すけ か だん
福助花壇

大菊を普通よりも遅く(7月上旬頃)挿し芽をして、さらにわい化剤(ピーナイン)で背丈を短く(50cm以下)作り、鉢より大きな花を咲かせます。

咲きあがった姿が福助人形に似ているところから福助作りと呼ばれるようになりました。

5鉢(全種異品種)を縦一列に並べた花壇で、花の大きさや盛り上がり具合。花と葉の調和、配色などが見所です。



い しょう か だん
意匠花壇

竹細工で生き物や人物などを型どったものに色とりどりの菊花をはわせて作られたもので、江戸時代から始まったといわれています。

明石の海にいる生き物や風景など、毎年趣向を凝らしたデザインの花壇を展示しています。



ぎく か だん
ドーム菊花壇

第90回を記念して設けられた部門で、自然に分枝を繰り返す半球状の草姿となる別名クッションマムとも呼ばれる系統の品種を主に、4鉢を縦一列に配置して花壇を構成します。見どころは、4鉢ともが整った半球状で大きさの揃った草姿であり、4鉢が異なる品種で色彩が豊かであること、そして花が万遍なく付き株全体を覆うように開花しているところになります。



すぎ はち こ べつ
杉づくり鉢個別

きっちりと三角錐に作り上げ、足元から先端まで隙間なく花を咲かせる技術を競い合います。先端よりも底面の芽をそろえ咲かせることが難しいといわれます。



か だん
ダルマ花壇

挿し芽の時期を6月上旬にずらし、3本仕立ての要領で福助作りと同様にわい化剤(ピーナイン)で背丈を短く(70cm以下)したものがダルマ作りです。赤・白・黄と5鉢のダルマを縦一列に並べ花壇を構成します。

仕立ては小さいとはいえ3本仕立てに劣ることのない大輪の花を咲かせるのが魅力です。



しょう けん がい はち こ べつ
小懸崖鉢個別

ハート型を細長くした様な形で、斜め下に懸垂することから、前垂れ型懸崖とも呼ばれています。規定の大きさの鉢で形とボリューム、開花状況等を審査します。最近の住宅事情等も考慮し、手軽に小づくり懸崖を楽しみながら栽培技術を会得する目的で作られました。病害虫防除や管理の仕方、芽つみの技術、また、花をそろえる技術などの基本を学ぶのに最適です。



さん ほん だて か だん あつ もの くだ もの
三本立花壇(厚物・管物)

1本の苗より3本の脇枝を立てた3本仕立て(盆養)を短幹・中幹・長幹と赤・白・黄の3色を組み合わせ、12鉢を横3列、縦に4段の12鉢(全種異品種)をバランス良く階段状に並べた花壇です。

厚物は花卉の盛り上がりの豪快さ、色彩の豊かさが見所となります。

管物は細く流れるような花卉が放射状に繰り出されて、その繊細さは見る人を魅了するところです。



とく さく とく さく か だん
特作(ミニ特作)花壇

特作花壇は大菊、小菊、その他各種の菊を自由に組込むことができ、また形態も自由なことから新しい発想による色々な花壇構成の作品となっております。



しょう ひん ほん さい
小品盆栽

豆鉢(1片または直径が12cm以下)と呼ばれる小さな鉢に、小菊を用い杉や松や柳など様々な樹形を表現して植え込み育てます。

小品盆栽の中には、①1鉢ごとに競い合う「鉢個別の部」②3鉢を組み合せ競う「鉢組の部」③縦、横120cmの中に自由に飾り付ける「花壇の部」があります。



第96回 明石公園菊花展覧会

10/26(土) ▶ 11/17(日)

時間 平日:10時~16時 土日祝:9時~17時



大菊切花展

11/5(火) ▶ 7(木)

時間 9時~16時

場所 パピオスあかし2階
あかし市民広場



菊花展覧会の歴史パネル展 & 菊花展覧会第6回フォトコンテスト作品展

11/2(土) ▶ 10(日)

時間 9時30分~16時30分

場所 明石公園サービスセンター
パークギャラリー



ぼん さい か だん
盆栽花壇

風雪に耐えた木、山の頂にそびえ立つ木、切り立った断崖で生き延びてきた木、作者が思い描いたその風景にある木を一枝一枝に丹精を込め一つの盆栽に仕上げます。そんな盆栽数鉢を花壇の中に配置し、日本の山野の美しさを巧みに表現したものです。



しゅうしょく ぼん けい
秋色盆景

平鉢に小菊を主体に野菊や山野草を添えて、植物本来の自然美を損なわない程度に、木・岩・石・寒水石等を配置して仕上げます。株数の制限はなく、鉢の中に自然の野辺風景を表現した作品が好まれます。



ぼん けい か だん
盆景花壇

50cm×40cmの木枠又は平鉢に個々の盆栽菊を配置して、風景花壇とします。全景の調和、遠近法で自然の風景を表現した作品が好まれます。



おお ぎく はち ぐみ
大菊鉢組

3本仕立て4鉢を縦一列に階段状に配置して構成します。草丈は鉢底より天の花頂まで、最後列で1メートル65cm以下の基準で全種異品種となっています。



菊花展覧会

年次	回数	記事
大正14年		農事試験場育成の菊花を明石公園に移管
昭和元年 大正15年	1	大正15年6月12日、佳友会が誕生する。初代佳友会会長 木下吉左衛門氏 初めて菊花展覧会を開催する。会期40日間、観覧者20万人
昭和3年	3	久邇宮、朝香宮、賀陽宮各殿下明石公園菊花展覧会御鑑賞のため台臨される。
昭和7年	7	伏見宮両殿下、菊花展覧会御鑑賞のため台臨される。豪雨により明石川決壊、明治橋流失。
昭和8年	8	閑院宮殿下菊花展覧会御鑑賞のため台臨される。
昭和17年	17	2代佳友会会長 立石恒四郎氏
昭和22年	19	菊花展覧会復活
昭和23年	20	シェード栽培実施 この年から枚方、神戸、岡山等から苗の分譲依頼が多くなる。
昭和24年	21	山陽電鉄株式会社が本丸一帯で菊人形展開催
昭和25年	22	山陽電鉄株式会社と神戸新聞社の共催で人形館を設置する。初めて菊の栽培教室開催される。
昭和27年	24	菊花栽培場で温室1棟、倉庫2棟、事務室1棟を建設する。
昭和29年	26	天皇・皇后両陛下が本丸に御台臨される。
昭和31年	28	各大臣賞状を初めて授与する。
昭和33年	30	皇太子殿下が本丸に御台臨される。
昭和39年	36	台風20号により菊小屋倒壊 3代佳友会会長 木下吉左衛門氏
昭和43年	40	菊人形展開設
昭和47年	44	4代佳友会会長 石田信一氏
昭和53年	50	第50回菊花展覧会式典を開催
昭和54年	51	5代佳友会会長 辻勝一氏
昭和62年	59	菊花栽培場事務所老朽化による建て替え
昭和63年	60	菊花栽培場倉庫2棟不審火により全焼
昭和64年 平成元年	61	菊花栽培場倉庫1棟建設する。
平成2年	62	花と緑の学習園開設
平成9年	69	第33回社団法人菊花連盟全国大会明石大会が明石中央体育会館で行われる。
平成10年	70	6代佳友会会長 安藤昌廣氏 台風により菊小屋が倒壊
平成13年	73	明石佳友会改め明石菊花協会設立 初代明石菊花協会会長 安藤友雄氏
平成14年	74	明石観光協会から(財)明石市緑化公園協会に菊花展覧会事務を移管
平成18年	78	(財)明石市緑化公園協会解散。明石市(緑化推進課)が菊花事業を引き継ぐ。
平成19年	79	2代明石菊花協会会長 西海喜明氏 市の直営から民間委託(株式会社国華園)となる。
平成20年	80	緑化推進課と公園課を統合した緑化公園課に菊花展覧会事務を引き継ぐ。第80回菊花展覧会記念式典を開催
平成29年	89	台風21号により菊小屋3棟倒壊
平成30年	90	第90回菊花展覧会開催
平成31年 令和元年	91	明石市制施行100周年記念事業として第91回菊花展覧会開催
令和6年	96	第96回菊花展覧会開催



菊花展覧会

49 児童写生作品展

12/14(土) ▶ 17(火)

時間 9時～16時
12/14(土)は14時～16時

場所 パピオスあかし2階
あかし市民広場

学校園花壇人気コンテスト

10/26(土) ▶ 11/4(日)

時間 9時～16時
場所 明石公園正面入口

菊の盆栽販売イベント

日時 11月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)

時間 午前の部:10時～12時 午後の部:13時～15時

費用 500円

明石公園 **菊花展覧会** Instagram

7回 フォトコンテスト

募集期間

10/26(土) ▶ 11/19(火)

詳しくはこちら